

1 成年後見あんしん生活創造事業（※）による報告等

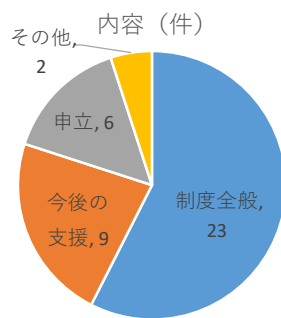
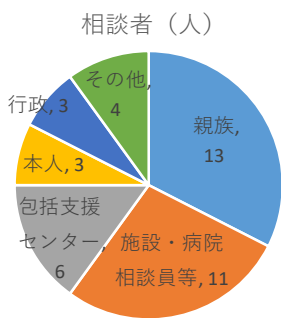
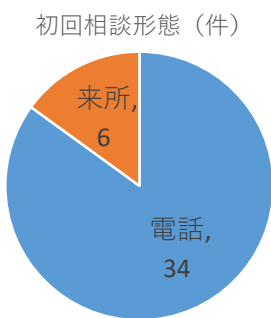
※ 青梅市社会福祉協議会への委託事業

(1) 成年後見関連相談状況（令和5年7月～10月）※延べ相談件数 85件

初回相談形態（件）	
電話	34 85.0%
来所	6 15.0%
40	

相談者（人）	
親族	13 32.5%
施設・病院相談員等	11 27.5%
包括支援センター	6 15.0%
本人	3 7.5%
行政	3 7.5%
その他	4 10.0%
40	

内容（件）	
制度全般	23 57.5%
今後の支援	9 22.5%
申立	6 15.0%
その他	2 5.0%
40	



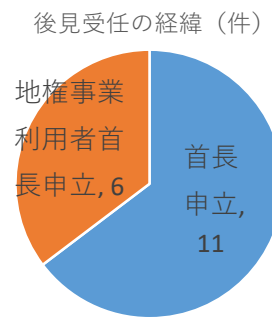
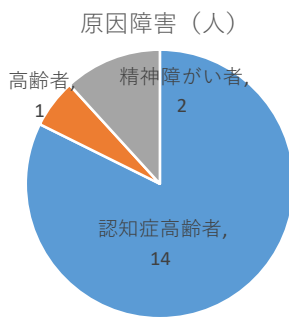
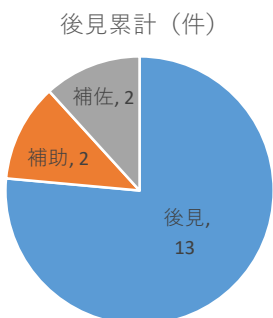
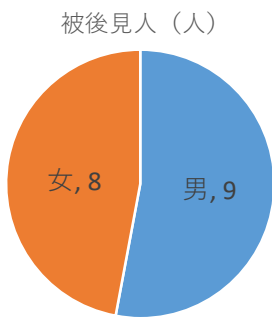
(2) 法人後見受任状況（令和5年10月31日現在）

被後見人（人）	
男	9 52.9%
女	8 47.1%
17	

後見累計（件）	
後見	13 76.4%
補助	2 11.8%
補佐	2 11.8%
17	

原因障害（人）	
認知症高齢者	14 82.3%
高齢者	1 5.9%
精神障がい者	2 11.8%
17	

後見受任の経緯（件）	
首長申立	11 64.7%
地権事業利用者首長申立	6 35.3%
17	



終了1件（男性、後見、精神障がい者、地権事業利用者首長申立）

(3) 支援検討会議おうめ(※)開催状況

※後見人候補等の選考および受任調整ならびに成年後見制度の適用にかかる個別事案に関する検討等を行う会議体

令和5年 8月10日(木) 3件

検討内容	方針
①無戸籍、住民票なしの方の後見制度利用について	→ 青梅市が首長申立て、社会福祉士を後見人等の候補者とする。
②精神障がいをお持ちの方の後見制度利用について	→ 見守りを続け、申立てのタイミングを計る。
③家族の支援が得られない高齢者の方の後見制度利用について	→ 首長申立てで社会福祉協議会を後見人等の候補者とする。

令和5年10月19日(木) 5件

検討内容	方針
①認知症高齢者の方の後見制度利用について	→ 司法書士を後見人等の候補者とする。
②認知症高齢者の方の後見制度利用について	→ 社会福祉士を後見人等の第1候補者、社会福祉協議会を第2候補者とする。
③認知症高齢者の支援について	→ 地域福祉権利擁護事業の利用につなげる。
④高次脳機能障害の疑いがある高齢者の支援について	→ 地域福祉権利擁護事業の利用につなげる。
⑤認知症高齢者の方の後見制度利用について	→ 青梅市が首長申立て、社会福祉士を後見人等の候補者とする。